

発 言 通 告 書 総 括 表

平成21年 第2回 定例会 代表質問

	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1	河合議員 (自民)	1 区長の区政運営について 2 新型インフルエンザ対策について 3 都区のあり方について 4 介護保険制度について	千代田区内での感染拡大防止対策 弱毒性・強毒性ウイルスに対する臨機応変な計画の必要性 今後の区のインフルエンザ対策 都区の事務配分に関する基本的方向性 区域再編と事務移管 介護職員の処遇改善状況 人材確保・定着・育成支援事業の成果 介護報酬引き上げに伴う利用者への影響 要介護認定の見直しによる本区の影響	区長並びに係理事者
2	飯島議員 (共産)	1、子育て世帯へのアンケートに寄せられた声を活かすために 2、医療費助成制度について 3、まちづくりに関して	次世代育成支援後期行動計画策定にあたり、区が就学前・小学生児童のいる全世帯に行ったニーズ調査には様々な切実な声が寄せられた。この声にどう応えていくかが問われている。 保育ニーズに応えるためには、区立保育園の増設が必要 子どもの年齢に応じた公園、広場の整備計画を求める ヨーロッパ先進諸国では医療費窓口負担は原則無料。日本は健康保険料が高い上に窓口負担が大きいのは異常。 こども医療費助成の対象を18才まで拡充を求める 65才以上の医療費軽減の検討を求める JR飯田橋駅ホームの改善計画が示されないまま、周辺大規模開発が進んでいる。利用者の安全確保についての見解を問う 上智大学真田濠グラウンドの都契約が今年10月で満了時期を迎える。今後の利用について、都民を入れた検討会で論議することを提案する	区長、ならびに係理事者

	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を求める者
3	大串議員 (公明)	「子どもの笑顔輝くまち千代田」を目指して！	「子育て施策の財源の確保に関する条例」また、「次世代育成支援行動計画」ともに今年度が最終年度である。そこで、それぞれの目標は達成されたのか。 今後、「共育マスタープラン」、「次世代育成支援行動計画」(後期)が策定されていくこととなるが、子ども施策全体の方向性と基本的な考え方は。 「子どもの居場所づくり」に関しては、学校や区を始め多くの団体、グループがその取り組みを行っている。そこで、皆が一同に会する場を設け、課題の解決や連携できるようにしてはどうか。	区長、ならびに関係理事者